

## 2012年 11月 活動

### 2012年11月25日週の情報

#### ●林原氏「確実に進む放射能汚染土壌対策…セミナー」を聴講(11月30日)

11月30日当協会林原氏が、(一財)日本土壌協会会長、東京大学名誉教授松本聡氏の「確実に進む放射能汚染土壌対策と、今後の早急な対応」のセミナーを受けました。汚染土壌の除染対策について大変参考になる情報を得ております。また松本教授との意見交換を致し、同氏が 霊山PJの活動に興味を示されました。今後とも関係を保っていききたいと思います。詳細は会員 HP に掲載予定です。

#### ●再生エネを忘れるな(11月28日)

篠田事務局長が再生可能エネルギーの重要性を再度「REPA 会員のオピニオン」(本ページ左側のコーナ)で力説しております。是非ご一読を！

#### ●市橋会員が福井県の中小企業の経営者に対し「原子力を考える」というテーマで講演(11月22日)

REPA 会員の市橋利夫・千葉大学大学院特任研究員は 11 月 22 日(木)、福井県商工会議所 C 会議室で、福井県の中小企業の経営者で構成する FMS (Future Management Strategy 未来経営戦略)会で「原子力発電を考える」と題して、講演しました。福井県は多くの原発を抱えていますが、「これ以上電力の供給に不安が生じ、電力価格が高騰するのであれば、日本国内の製造産業の空洞化は一層加速されてしまう」という地元経営者の切実な認識により市橋氏が招聘されました。市橋氏は、「福島では原発の危険性の大きさを余すところなく実証してしまったことは逃れようのない事実。この事実を踏まえ、エネルギー問題の側面も十分に認識しつつ、単なる理念や抽象論ではなく実態に基づいた冷静な議論が必要だと考えるという立場で、私の考えをお伝えし議論させていただきました」。

#### ●エコプロダクツ2012出展(12月13～15日)

エコプロダクツ2012が12月13～15日東京ビッグサイトで開催されます。当協会は**第4ホール N-12**ブース(2間)にて、当協会の活動概要、霊山プロジェクトのメタン発酵と水田除染の活動を紹介します。是非お立ち寄りください。

<http://eco-pro.biz/ecopro2012/events/E1000.php?id=10306>

<http://eco-pro.com/eco2012/>

当期間で環境省主催のセミナーも合わせて開催されます。ご興味のある方は申し込んでください。先着順のようです。

<http://eco-lead.jp/seminar2012.html>

以下抜粋です。

「本年 10 月に本格施行となった環境教育等促進法を踏まえ、環境省は環境人材育成コンソーシアム (EcoLeaD)<sup>\*</sup>と連携して、企業の経営者層、環境や調達等の実務担当者などを対象に環境教育を実施しております。今後以下のようなセミナー、交流会、研修を開催いたします。」

### ●**霊山プロジェクト実務者会議(11月27日)**

霊山プロジェクト実務者会議を 11 月 27 日(火)18:30～20:00 本部会議室で開催します。霊山プロジェクトのメタン発酵、水田除染進め方について検討が行われます。

### ●**第 7 回再生可能エネルギー世界展示会」(12月5～7日)**

2012 年 12 月 5 日(水)～7 日に幕張メッセで開催される第 7 回再生可能エネルギー世界展示会」で信州大の飯尾准教授の講演(テキスト代 3,000 円)があります。また、水車の展示もありますので時間がありましたら展示会に参加してみてください。

12/6;15:50～16:20「オフグリッドの小水力発電システム開発」信州大学飯尾昭一郎、池田敏彦

### ●**第3回セミナー「海洋温度差発電」のご案内(12月1日)**

創エネ・省エネ研究会が下記内容で、日本において10～20年で実用化が可能と思われる期待の新エネルギー技術「海洋温度差発電」を取り上げます。是非ご参加ください。詳細は[創エネ・省エネ研究会](#)をご覧ください。

テーマ : 海洋温度差発電利用の展望

日 時 : 12月1日(土)時 間 : 14:00～18:00 受付開始 : 13:30～

場 所 : 港区立エコプラザ <http://eco-plaza.net/map/>

住 所 : 港区浜松町1-13-1

交通機関 : JR 浜松町駅北口下車4分都営地鉄大門駅 B1 出口下車3分

参加費 : 1,000円

## 2012年11月18日週の情報

### ●**REPA情報交換会開催(12月5日)**

情報交換会を 12 月 5 日(水)18:30～20:00、REPA 事務所番町ハイム 101 号室にて開催いたします。当日の話題提供は日本工業大学大学院生ツルガさんによる「福岡県大木長町のメタン発酵施設視察記」です。そのほか、伊達市霊山でのバイオガス製造装置実証実験の様相および水田除染についての報告、エコプロ

2012の準備状況の連絡等をさせていただきます。

参加される方は資料準備の都合がございますので、事務局までご一報願います。

### ● 霊山プロジェクト第3回寺子屋会議、実務者会議ならびに現地見学会開催(11月17日)

11月17日(土)福島県伊達市下小国の山下公会堂で、当協会が取り組んでいる霊山プロジェクトの第3回寺子屋教室が行われました。

バイオガス実証施設は冬支度に入りました。これから柿、その他いろいろな種類の作物残渣などの装置への投入が始まり、多くのデータが得られると思います。装置屋根には手作りの太陽光パネルも設置され、それから発生した電気でイルミネーションが輝きます。

水田除染は、土壌分析結果、ゼオライト・竹炭の電子顕微鏡観察結果などが発表され、今後の除染作業の方向付けがされました。

次回は2013年1月26日(土)に福島県伊達市下小国の山下公会堂で行われる予定です。第4回寺子屋会議は長岡技術科学大学の姫野准教授による「稲わら等のメタン発酵」です。



水田除染状況の視察



メタン発酵装置の視察



霊山プロジェクト会議の様子(ストーブが入り



霊山プロジェクト集合写真

ました)	
	
夜遅くまで白熱した議論がなされた実務者会議	周りでは除染作業が行われていました

### ●REPA 運営委員会開催(11月21日)

REPA 運営委員会が 11 月 21 日(水) 18:30～20:00 で開催しました。霊山プロジェクトの運用管理方法の議論・と方向付け、エコプオ2012 の準備状況、当日の当番等の役割分担、今後の活動テーマの検討がなされました。順次ホームページ等で紹介して行きます。

## 2012年11月11日週の情報

### ●メタンガス発酵プロジェクトが東北建設協会の技術開発支援テーマに正式決定(11月1日)

平成 24 年度建設事業に関する技術開発支援テーマ募集に申請しました当協会の申請が、”10 月 23 日に第三者による技術開発選定委員会が開催され、厳しい財政状況の中、厳正に審議した結果、貴テーマ「汚染されたバイオマスのメタン発酵によるエネルギー利用の研究開発」が、総合的な評価により、採択となりました。”との書面通知がありました。

### ●霊山プロジェクト第 3 回寺子屋会議、実務者会議ならびに現地見学会(11 月 17 日)再掲

11 月 17 日(土)福島県伊達市下小国の山下公会堂で、当協会が取り組んでいる霊山プロジェクトの第3回寺子屋教室および現地視察を行います。この事業は、すでに進行中の事業ですが、今秋からはバイオガス製造実証実験が社団法人東北建設協会、水田除染が三井物産環境基金の支援を得ることが決まり、2014 年3月末までの予定で実施されることになりました。バイオガス実証施設は手作りの小規模の設備ですが、実験では順調にバイオガスが回収され、お湯や炊飯等に利用するまでになっております。参加希望者は篠田事務局長まで。

## ●REPA 情報交換会 11 月度(11月 7 日)

REPA 情報交換会を 11 月 7 日(水)18:30~20:00 で開催しました。尾園副代表から「水素循環型社会と再生可能エネルギー」と題して 30 分程度の話題提供をおこないその後活発な議論が情報提供等がなされました。当日は牧理事の手料理が振舞われました。大変おいしく頂きました。ごちそうさまでした。

## ●三井物産環境基金 2012 年度下半期 助成団体交流会予定(2013 年 2 月 25、26 日)

三井物産環境基金 NPO 交流会が 2013 年 2 月 25~26 日 福島県福島市「コラッセ福島」(福島駅より徒歩 3 分)で予定されています。

## ●再生可能エネルギー関係者必読の書紹介

書籍名:新しい火の創造 ……エネルギーの不安から世界を解放するビジネスの力

著者:エイモリー・B・ロビンズ/ロッキーマウンテン研究所: 訳:山藤泰 出版社:ダイヤモンド社

内容:本書ではエネルギー問題を、政治や電力業界だけで解決できるものではなく、ビジネスの力によってこそ解決できるものと位置づけている。なかでも、そのカギを握る運輸、建物、工業、電力の4つの業界に注目し、最前線の効率化技術やビジネスモデルを紹介しながら、エネルギーシフトの具体的な進め方について提案する。

## 2012年11月4日週の情報

### ●三井物産・環境基金室を訪問(11 月 2 日)

11 月 2 日(金)午前、三井物産株式会社 環境・社会貢献部 社有林・環境基金室(東京 大手町)の佐藤マネジャー様、平田様を、当協会佐藤代表理事、尾園副代表理事が訪問し、環境基金助成の御礼と、霊山プロジェクトの進捗状況のご説明、ならびに契約書の取り交しを行いました。

ご担当様からは、同プロジェクトに対するさまざまなご質問、激励のお言葉がありました。

佐藤代表理事より、本助成金によりさらに活動を充実させ、実りのある成果を出すことを約しました。関係部門の益々のご支援をよろしくお願い致します。



契約書を取り交わす三井物産佐藤マネジャー様  
(左)と、当協会代表理事佐藤茂夫



昭和記念公園のコスモス(左とは関係ありません)

### ● 霊山プロジェクト第3回寺子屋会議、実務者会議ならびに現地見学会(11月17日)

11月17日(土)福島県伊達市下小国の山下公会堂で、当協会が取り組んでいる霊山プロジェクトの第3回寺子屋教室および現地視察を行います。この事業は、すでに進行中の事業ですが、今秋からはバイオガス製造実証実験が社団法人東北建設協会、水田除染が三井物産環境基金の支援を得ることが決まり、2014年3月末までの予定で実施されることになりました。バイオガス実証施設は手作りの小規模の設備ですが、実験では順調にバイオガスが回収され、お湯や炊飯等に利用するまでになっております。今回の会議の主なプログラムは次の通りです。

09:50 JR 福島駅西口改札口集合 or 車の方は 10:30 山下公会堂集合

10:30 同プロジェクトの現況報告

11:00 水田除染の10検体測定・分析結果の報告

11:30 第3回寺子屋教室(基礎編最終回)「メタン発酵・事例編」野池達也・東北大学名誉教授

12:30 昼食

13:30 現場視察

15:00 会議終了、

一旦解散引き続き、実務者会議(プロジェクトメンバーによる打ち合わせ)を執り行います。

当日の会議に参加希望の方は、JR 福島駅から現地までの送迎の都合がございますので、集合場所を明記の上、**事務局まで必ずご連絡**ください。なお、本プロジェクトへの参加はすべて自己負担にてお願いしております。また、昼食は現地の方々をご用意していただきますが、材料費等を含め 1,000 円/人をお願いいたします。

### ● 第3回セミナー「海洋温度差発電」のご案内(12月1日)

創エネ・省エネ研究会が下記内容で、日本において10～20年で実用化が可能と思われる期待の新エネルギー

ギー技術「海洋温度差発電」を取り上げます。是非ご参加ください。詳細は[創エネ・省エネ研究会](#)をご覧ください。

テーマ：海洋温度差発電利用の展望

日時：12月1日(土) 時間：14:00～18:00 受付開始：13:30～

場所：港区立エコプラザ <http://eco-plaza.net/map/>

住所：港区浜松町1-13-1

交通機関：JR 浜松町駅北口下車4分 都営地下鉄大門駅 B1 出口下車3分

参加費：1,000円

## 2012年11月1日

### ●第4回放射能と生活を考える会で霊山プロジェクトを紹介(10月27日)

第4回放射能と生活を考える会(代表:富田英子)が10月30日18:30～21:00に、神奈川県鎌倉市の大船行政センター第2会議室で開催され、篠田淳司理事が福島県伊達市小国地区で展開中のバイオガス製造実証実験及び水田除染について報告しました。バイオガス製造実証事業は社団法人東北建設協会、水田除染は三井物産環境基金の助成を受けて今秋から本格的に展開する事業です。これらの事業は支援を受ける前からすでに着手しており、それまでの活動状況を含め現在の状況や今後の再生可能エネルギーの開発イメージについてお話ししました。会場からは、「放射能汚染された有機物を使って自ら製造したバイオガスで、ごはんを炊き上げ、みなさんが子供のように楽しみながら味わっておられる。バイオガス製造実験が地元の方の希望になっているのは本当に素晴らしいことです」との激励をいただきました。このほか、東日本大震災から1年7ヶ月を振り返って、原発問題をどう考えていくかについて情報提起させていただきました。参加者は10数名と決して多くはありませんでしたが、参加者の多くの方から活発な意見が飛び交い、予定時間を大幅にオーバーしてしまうほど、とても充実した会合になりました

